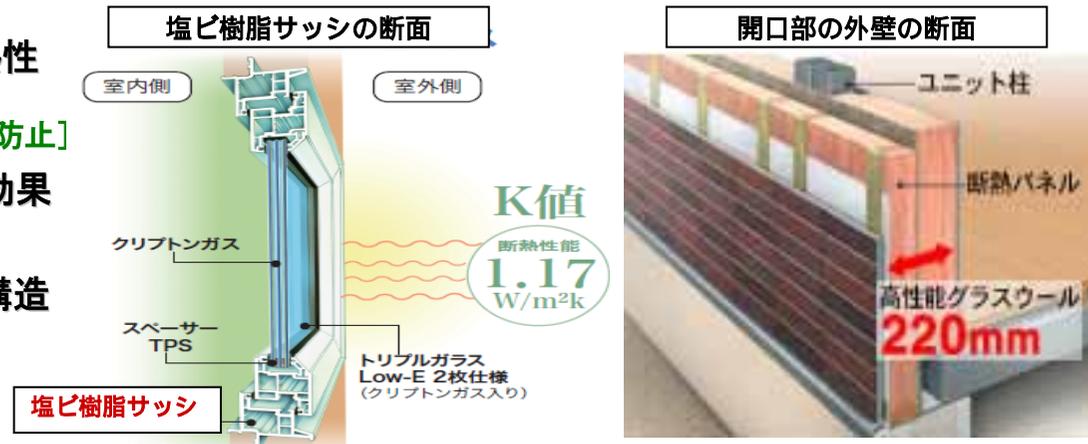


塩ビ樹脂サッシを使用し最高水準の高断熱・高気密化を実現

◇塩ビ樹脂サッシの特徴

- 1) 素材(塩ビ樹脂)の特徴を生かした優れた断熱性
[アルミの1/1000の熱伝導率]
[結露防止によるカビ・ダニの発生防止及び躯体の腐食防止]
- 2) 高い断熱性能による大きな省エネ・CO2削減効果
[断熱バランスの高い樹脂サッシと複層ガラスの組合せ]
- 3) 隙間風をシャットアウトする4コーナーの溶接構造
[樹脂ならではの溶かして接着する技術]
- 4) 最高ランクの気密性が生きる高い防音性能
[複層ガラスとの組合せにより騒音をカット]



◇最高水準の断熱性能にアップさせるため、断熱性能の高い窓ガラスや開口部の外壁を活用！

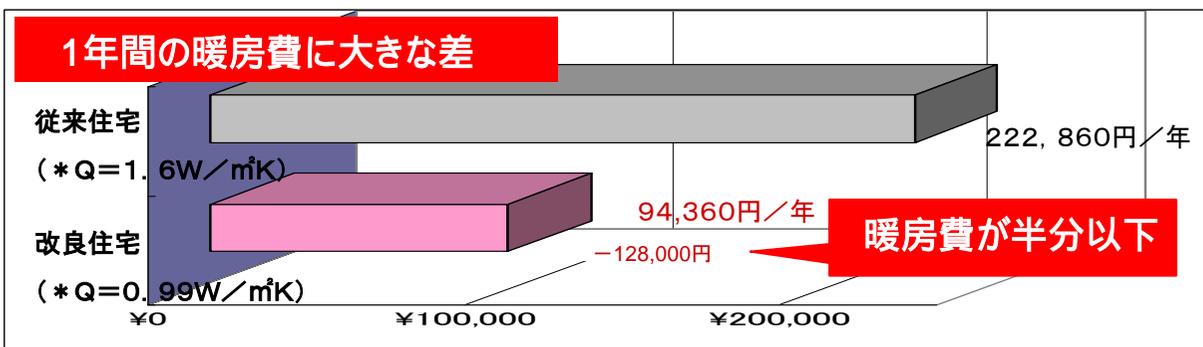
- ・窓ガラスには、熱エネルギーの吸収、再放射を抑える金属コーティングを施したLOW-Eガラスを活用。ガラスは三層構造とし、そこに熱伝導率の低いクリプトンガスを封入することでさらに断熱性能をアップさせた。

※これにより窓全体の伝熱特性としての指標である熱貫流率(K値)が1.17KW/m²・Kとなり、アルミサッシと単板ガラスとの組合せの場合(K値=6.58KW/m²・K)と比べて高い断熱性能となる。

- ・開口部の外壁には、鉄骨ユニットを二重の断熱層で包み込む構造とすることで、より断熱性能をアップさせた。

◇最高水準の高断熱・高気密化の実現による効果！

断熱性能・気密性能の高い塩ビ樹脂サッシを活用した開口部と断熱性能をアップさせた開口部の外壁を組み合わせた改良住宅の年間暖房費は、従来の住宅と比較して半分以下となり、エネルギー消費を劇的に削減。



※Q: 熱損失係数 (Q値が小さいほど高断熱性を示す)

※1年の灯油消費量

(灯油価格90円/L・164m²によるシミュレーション値)